



メッセージボード
インストールしてメッセージボードを
ご利用したメッセージボードを
ご利用の駅前に設置します。
会場入り口の駅前のミナライの
あなたの期待をお寄せ
期待をお寄せ
ください。

ワクワクが止まらない
駅からはじまる
ミナライのカタチ

日時 **10月27日(日) 10:00~12:00**

場所 **とりぎん文化会館 第1会議室** 鳥取県鳥取市尚徳町101-5

定員 **200名**
(予約不要)
参加費 **無料**

テーマ **「ワクワクが止まらない、
駅からはじまるミナライのカタチをデザインしよう」**

● **基調講演**

コミュニティデザイナーとして全国の地域課題に取り組んでいる山崎亮さんに、駅周辺の活性化や地域の住民との協働による広場空間の活用事例の紹介などをご講演いただきます。

講師 **山崎 亮** 氏 studio-L代表/関西学院大学建築学部教授/コミュニティデザイナー/社会福祉士

● **パネルディスカッション**

市民とつくる駅前のミナライのカタチについて、地域の方々を加えてディスカッションを行います。

ファシリテーター/齋藤 浩文 氏 ((株)まるにわ 代表取締役/鳥取市中心市街地活性化協議会 プロジェクトマネージャー)

パネラー/山崎 亮 氏 (studio-L 代表/関西学院大学建築学部 教授)

谷本 圭志 氏 (鳥取大学工学部 教授/鳥取駅周辺リ・デザイン会議 座長)

渡世 唱子 氏 (一般社団法人山陰三ツ星マーケット 代表理事)

小谷 峻一 氏 (鳥取大学地域学部1年/学生団体マルビバ 代表)

深澤 義彦 (鳥取市長)



山崎 亮
Ryo Yamazaki

【要約筆記の申し込み】
要約筆記をご希望される方は、10月18日(金)までに
お電話(0857-39-0777)へお申し込みをお願いします。

【託児の申し込み】
託児をご希望される方は、10月17日(木)までに、
お電話(0857-39-0777)へお申し込みをお願いします。

●主催/鳥取市・鳥取市中心市街地活性化協議会 ●協力/鳥取商工会議所青年部 ●後援/鳥取大学

【お問い合わせ】 鳥取市まちなか未来創造課 TEL:0857-30-8331 E-mail:machinakamirai@city.tottori.lg.jp
鳥取市中心市街地活性化協議会 TEL:0857-39-0777 E-mail:info@tottori-machinaka.com

ワクワクが止まらない、 駅からはじまるミライのカタチをデザインしよう

鳥取駅周辺再生基本計画とは

鳥取市は、因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏（麒麟のまち圏域）の中心市として、経済や観光、交流、防災面において、重要な役割を担っています。その中で、鳥取駅周辺は、商業施設や公共施設、民藝などの歴史・文化的な資源が集積する場所であり、さらに、鳥取駅は、交通の結節点として、住民生活を支える重要な場所となっています。

全国的に人口減少、少子高齢化が進み、本市においても様々な課題を抱える中、若者が暮らし続ける持続可能なまちづくりを進めるためには、鳥取駅周辺を再生し、中心市街地に賑わいを取り戻すことで、地域への誇りや愛着（シビックプライド）を醸成することが必要です。

鳥取駅周辺再生基本計画は、市民がワクワクする鳥取駅周辺に再生することで、鳥取駅を舞台にヒト・モノ・コトが集積し、交流の輪が人材を育成し続けるまちづくりの好循環を生み出すための基本的な方向性を示すものです。本計画は鳥取駅周辺再整備のロードマップで「構想段階」にあり、今後、市民の皆様や民間事業者、関係機関など、多様な主体と連携し、本計画を実現していくための「鳥取駅周辺再生整備計画」の策定を目指してまいります。

目指す将来像 次の50年へ。未来創造ステーション

～ワクワクが止まらない、駅からはじまるミライのカタチ～



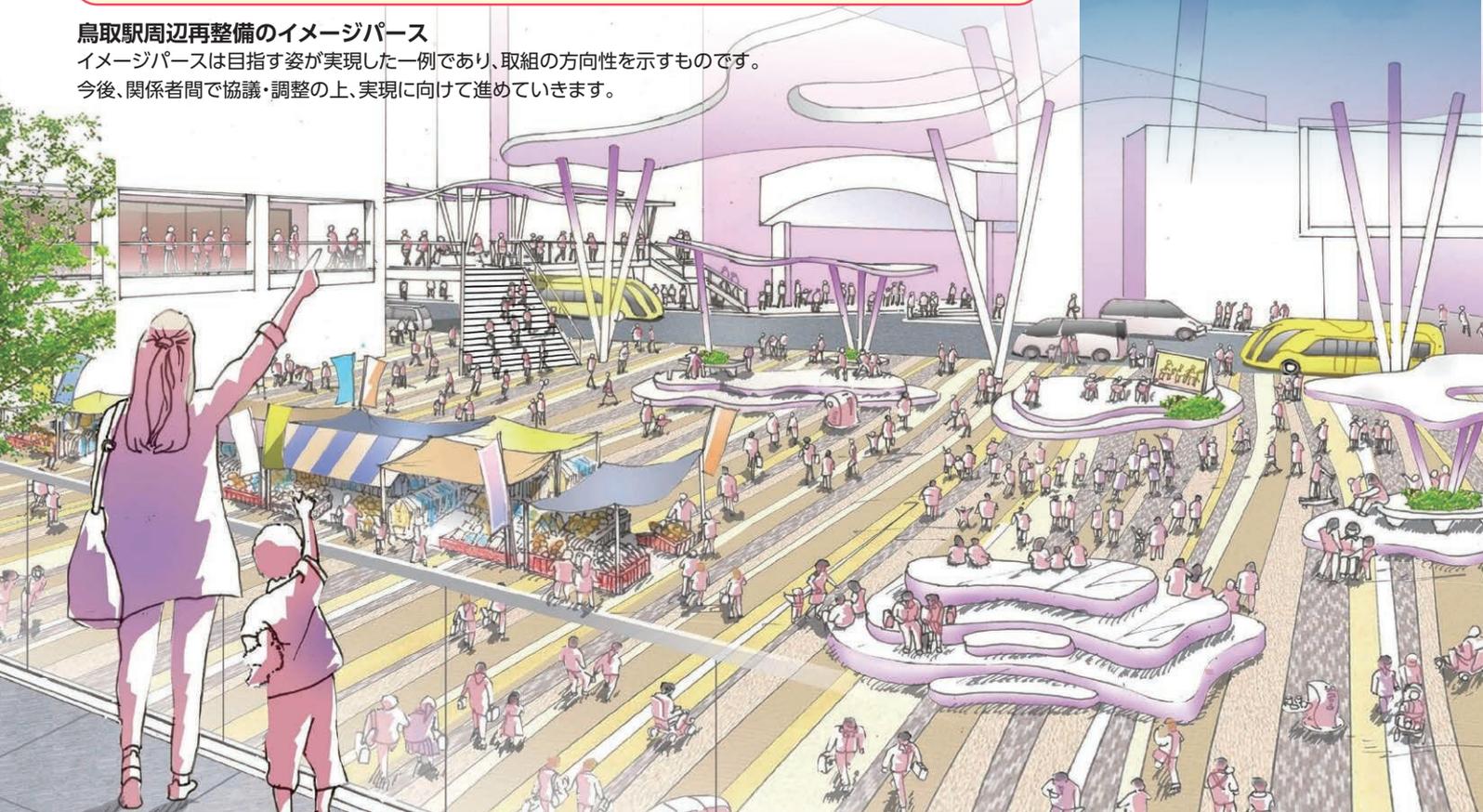
深澤 義彦 鳥取市長

再生の基本コンセプト

- 麒麟のまち圏域の新たなランドマークとなる、個性豊かなまちづくりの拠点に
- 特に若者、子育て世代が集い、楽しみ、交流できる、カジュアルでおしゃれな空間に
- 居心地が良く歩きたくなる空間に（ウォーカブル推進都市の実現）
- 通常時は賑わいを創出し、災害時は防災機能を発揮できる拠点に

鳥取駅周辺再整備のイメージパース

イメージパースは目指す姿が実現した一例であり、取組の方向性を示すものです。今後、関係者間で協議・調整の上、実現に向けて進めていきます。



やまざき りょう

基調講演者 山崎 亮氏

studio-L代表／関西学院大学建築学部教授／コミュニティデザイナー／社会福祉士

【プロフィール】

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士（工学）。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。

著書に『コミュニティデザインの源流（太田出版）』、『縮充する日本（PHP新書）』、『ケアするまちのデザイン（医学書院）』、『地域ごほん日記 おかわり（建築ジャーナル）』などがある。